



## つじいながお 辻井永雄さん (京都市伏見区)

キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ブロッコリーなど

「ほんまは、農業なんかしたくなかったんや。」と、京都乙訓地域農業士会の会長を務める辻井さん。高校卒業後に一度は就職したものの、結婚を機に家の農業を継いだそうです。「この家に生まれたから仕方なかったんや。400年ほど続いているんやから。おれで13代目やから。」

嫌々ながらも家業を継いでもう40年。その間、実直な人柄そのままに農作業に精を出してこられたのでしょ。今では、キュウリ栽培ではトップクラスの腕前に。もちろんネギ、ホウレンソウなども品質の良いものをつくっておられます。

「お父さん、若いときは農業嫌いやったけど、だんだん好きになったんやと思うよ。ただ、食べる方は今も好きやなくて、あまり野菜食べてくれへんけどね。」と奥さん。

息子さんが農業を継いでくれました。「親がいるから甘えとる。まだまだや。」と言いつつ、ちょっぴりうれしそう。当の息子さんは「嫌々農業やってるんやで。」…確かに親子です。



取材にうかがった時、御家族4人でホウレンソウを束ねておられました。「寒さが厳しくなったし、このホウレンソウもトンネルを掛けたんや。トンネル掛けるにしても束ねるにしても、農業は手作業が多いから1人ではあかん。みんなで作らんとあかん。家族が仲良うないと何も出来へん。」皆さん忙しく手を動かしながら、笑顔で答えていただきました。



ちなみに、辻井さんはこう思うとのめり込むタイプだそう。最近ハマっているのはスーパー銭湯めぐりとポケオンGO。また、「自分の服は自分で買わんと気が済まん。」とおしゃれに気を遣うダンディな面もお持ちです。

「大事なこと？ それは先祖から受け継いだものを守っていくこと。守れるものは守っていかなんと思うてる。それと、今よりもっと良いものをつくりたいと思うな。」と辻井さんは話されていました。

作成日:2017年2月1日(掲載内容は作成日現在の情報です)